

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-131954(P2003-131954A)

【公開日】平成15年5月9日(2003.5.9)

【出願番号】特願2002-226457(P2002-226457)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 12/16

G 1 1 C 16/06

G 1 1 C 29/00

H 0 3 M 13/35

【F I】

G 0 6 F 12/16 3 2 0 L

G 1 1 C 29/00 6 3 1 Z

H 0 3 M 13/35

G 1 1 C 17/00 6 3 9 C

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月2日(2005.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ペイロードと、

冗長と、

ペイロードと冗長との区切りを含み、区切りがペイロードと冗長との第1の比率を指定する第1の位置から、ペイロードと冗長との第2の比率を指定する第2の位置に移動できるデータ構造。

【請求項2】

区切りが第1の位置にある場合は冗長に第1の誤り訂正符号が格納され、区切りが第2の位置にある場合は冗長に第2の誤り訂正符号が格納される請求項1に記載のデータ構造。

【請求項3】

データ構造内で定義された冗長に初期誤り訂正符号を関連付けること、

初期誤り訂正符号を更新誤り訂正符号で置き換えること
を含む方法。

【請求項4】

さらに、冗長とペイロードの間に定義された区切りを移動し、冗長内に更新誤り訂正符号で必要とする領域を提供する請求項3に記載の方法。

【請求項5】

記憶デバイス内でペイロードと冗長を定義してペイロードと冗長の合計に対するペイロードの比率を定義することと、

この比率を動的に変更して冗長のサイズを変更すること
を含む方法。

【請求項6】

さらに、データ・記憶デバイスのメモリ試験を実行し、冗長が十分かどうかを判断することを含む請求項5に記載の方法。

【請求項 7】

誤り率の変化に応じて更新誤り訂正符号を割り当てて初期誤り訂正符号に置き換える更新誤り訂正符号（ECC）割り当てモジュールと、

更新誤り訂正符号割り当てモジュールが選択できる少なくとも2つのECCを含むECCライブラリ
を含むシステム。

【請求項 8】

さらに、初期誤り率に応じて初期誤り訂正符号を割り当てる初期誤り訂正符号割り当てモジュールを含む請求項7に記載のシステム。

【請求項 9】

さらに、初期誤り訂正符号割り当てモジュールに記憶デバイスのテクノロジーを報告し、初期誤り訂正符号をより適切に選択できるようにするテクノロジー・タイプ決定モジュールを含む請求項8に記載のシステム。

【請求項 10】

コンピュータで実行可能な命令が格納されたコンピュータで読み取り可能な媒体であって、この命令を実行するときに、

データ・記憶デバイス内で定義された冗長に初期誤り訂正符号を関連付ける作業と、

データ・記憶デバイスの誤り率の変化に応じて更新誤り訂正符号を冗長に関連付ける作業と、

データ・記憶デバイス内の冗長とペイロードの間に定義された区切りを移動し、更新誤り訂正符号の冗長データに必要な領域を提供する作業

を実施する媒体。